

# 2023年3月期 決算説明資料

2023年4月27日  
神奈川中央交通株式会社

## 2023年3月期 決算概要

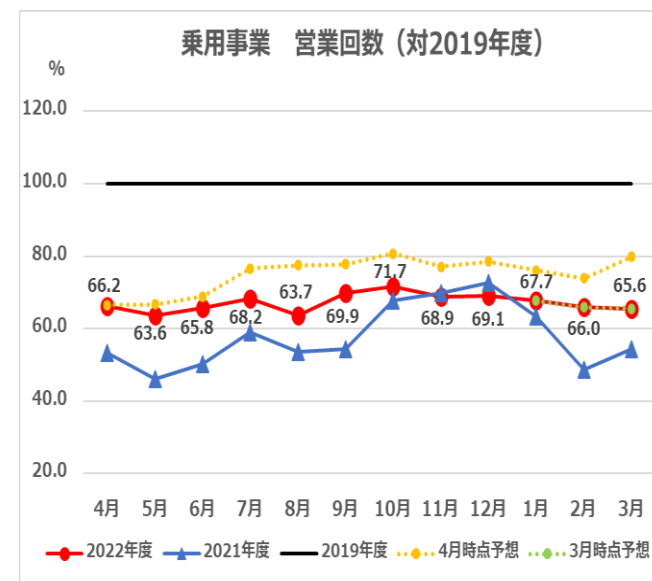
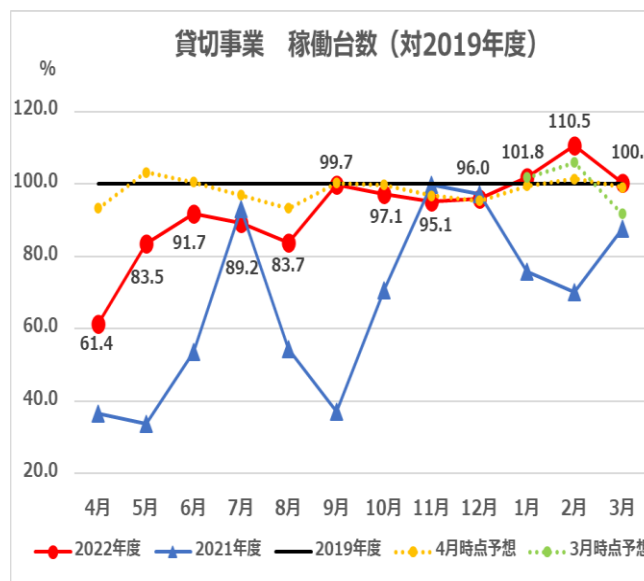
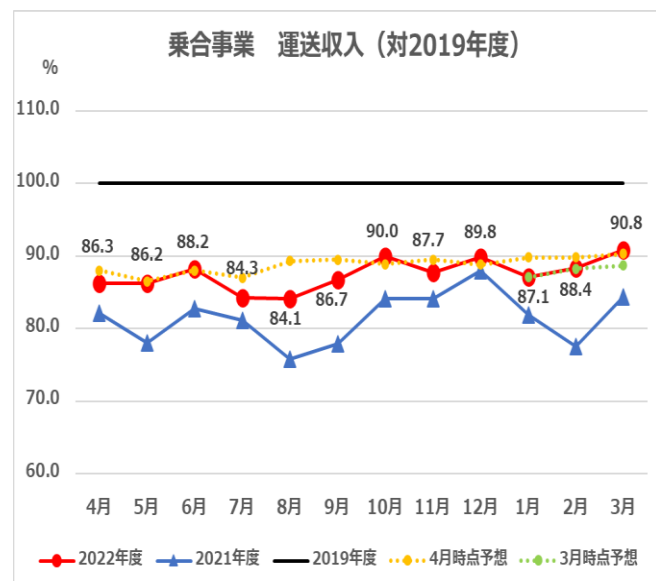


## 期中および3月時点での状況

- 期中は、いわゆる「第7波(7月～)」および「第8波(11月～)」の影響により一時的に旅客需要が落ち込んだものの、概ね回復基調で推移した
- 前年との比較では旅客需要が回復しているものの、感染症拡大前(2019年度)の水準を下回った

乗合事業	■ 「第7波」および「第8波」の影響により、旅客需要に落ち込みがあったものの、感染症再拡大の影響は次第に縮小しており、運送収入は感染症拡大前の9割程度まで回復
貸切事業	■ 学生団体などの需要が持ち直したことや、契約輸送の獲得により、稼働台数は感染症拡大前の水準まで回復
乗用事業	■ 飲食店等の営業時間が延長されたことで夜間を中心に旅客需要の回復が見られたものの、運転職の人員減による影響もあり、営業回数は感染症拡大前の7割弱に留まる

※ 感染症拡大前:2019年度実績(2月と3月については2018年度実績)



(単位:百万円)

	2023年3月期	2022年3月期	増減
売上高	103,865	97,777	6,088 (6.2%)
一般旅客自動車運送事業	49,236	45,016	4,220
不動産事業	5,907	7,774	△ 1,866
自動車販売事業	29,022	26,692	2,329
その他の事業	27,871	25,648	2,223
調整額	△ 8,173	△ 7,354	△ 818
営業利益	4,323	1,008	3,314 (328.6%)
一般旅客自動車運送事業	633	△ 3,357	3,991
不動産事業	2,499	3,058	△ 559
自動車販売事業	723	881	△ 158
その他の事業	684	590	93
調整額	△ 217	△ 165	△ 52
経常利益	4,910	2,586	2,323 (89.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,149	1,838	△ 689 (△ 37.5%)
1株当たり当期純利益	93.65円	149.79円	△ 56.14円
減価償却費	5,873	6,608	△ 734
資本的支出	8,793	6,125	2,668
EBITDA(営業利益+減価償却費)	10,197	7,617	2,580

2023年3月期 業績予想 (2022年4月公表値)	増減
100,600	3,265 (3.2%)
51,170	△ 1,933
7,330	△ 1,422
22,610	6,412
27,220	651
△ 7,730	△ 443
4,780	△ 456 (△ 9.5%)
1,350	△ 716
2,500	△ 0
400	323
730	△ 45
△ 200	△ 17
4,750	160 (3.4%)
3,690	△ 2,540 (△ 68.9%)
300.69円	△ 207.04円

(単位:百万円)

	2023年3月期	2022年3月期	増減	摘要
営業外収益	1,000	1,982	△ 981	助成金収入△971
営業外費用	414	404	9	持分法投資損失+17
特別利益	446	1,222	△ 776	補助金収入△261 投資有価証券売却益△255 固定資産売却益△214
特別損失	2,428	959	1,468	減損損失+2,056 (※) 固定資産除却損△315 固定資産圧縮損△256

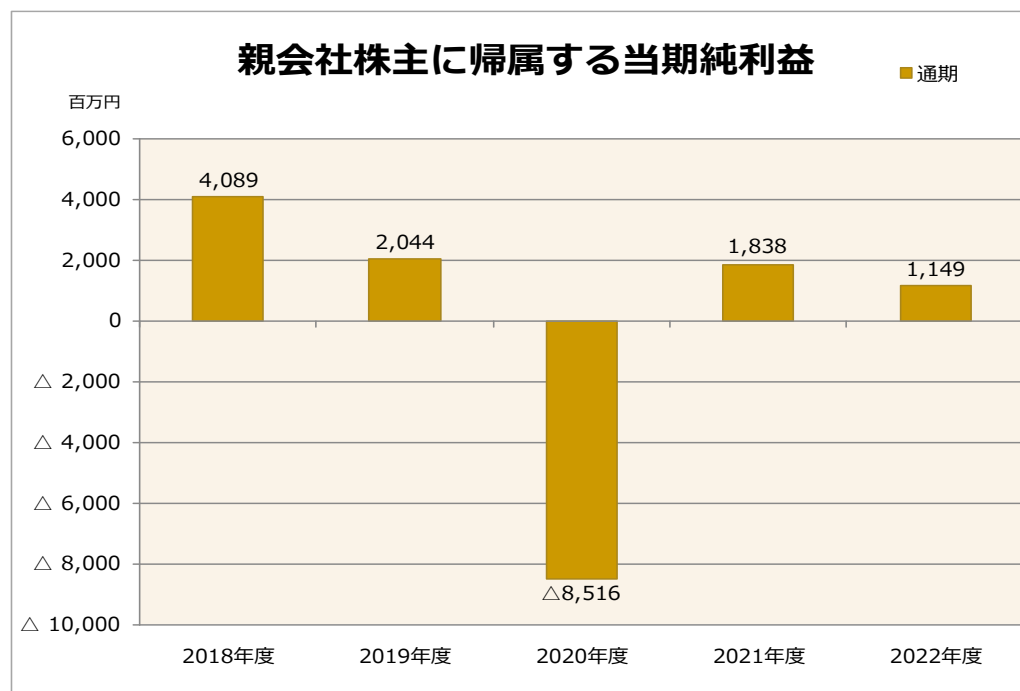
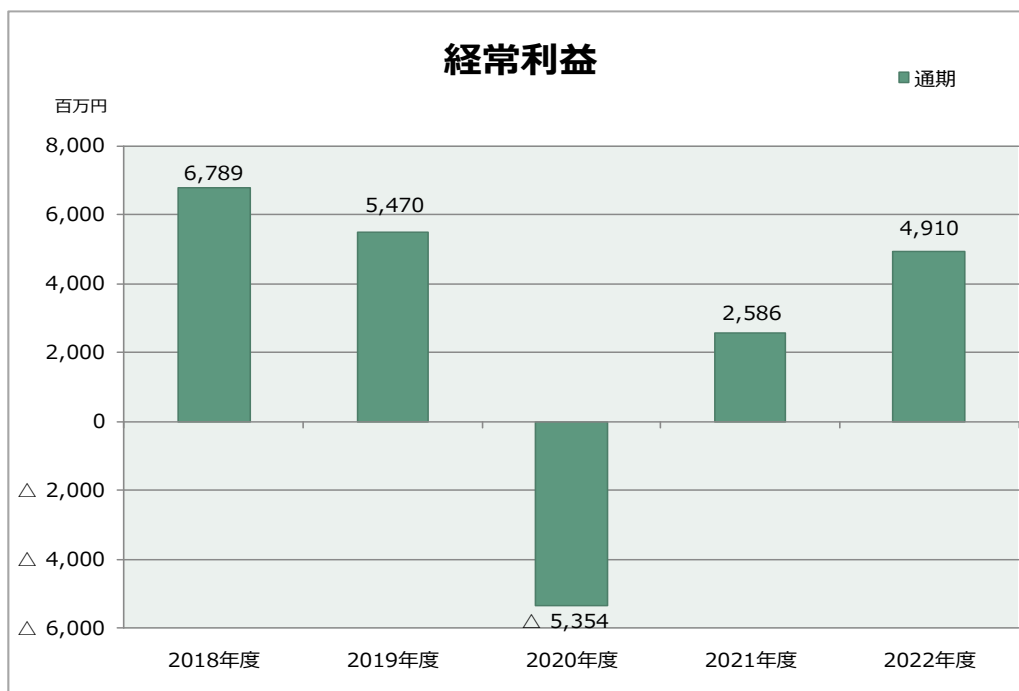
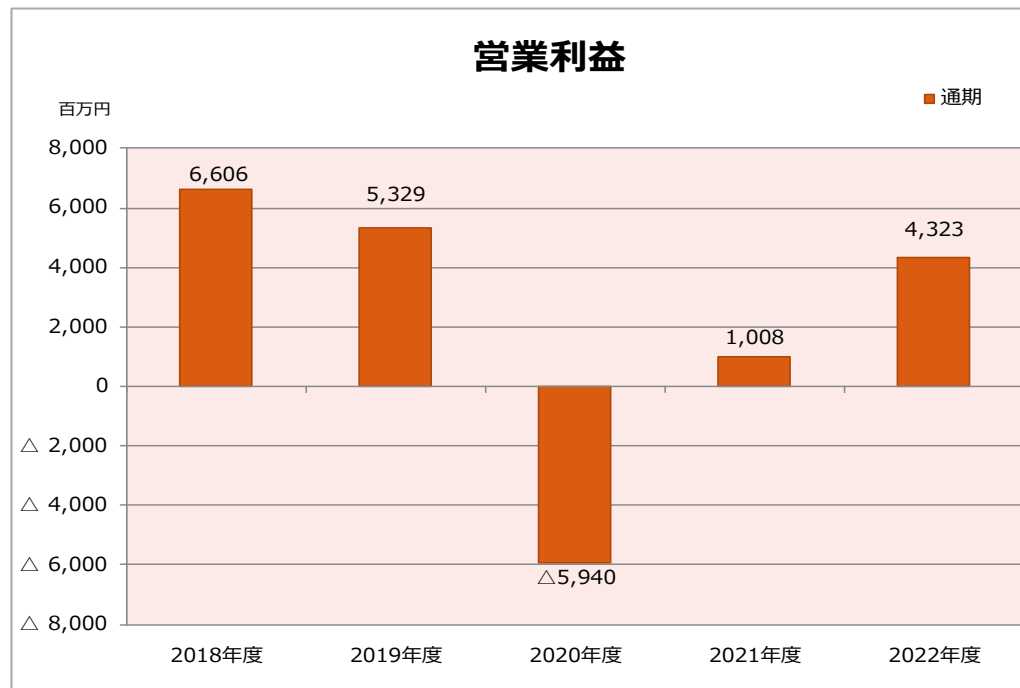
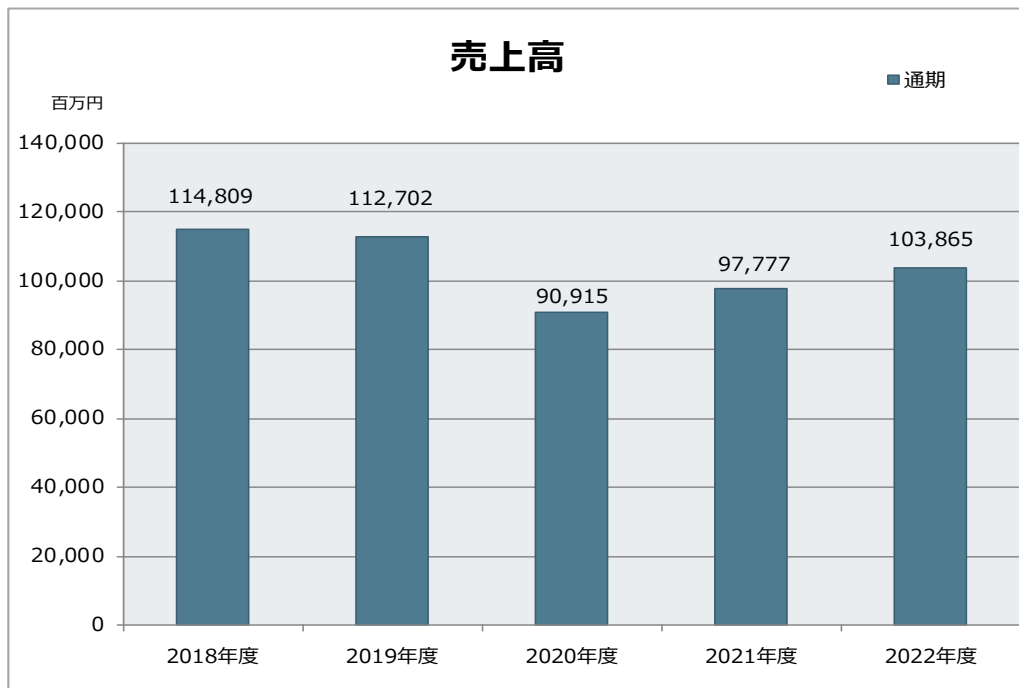
※ 2023年3月期において、乗用事業を営む神奈中タクシー株式会社が保有する固定資産について、減損損失1,993百万円を特別損失として計上いたしました。

(単位:百万円)

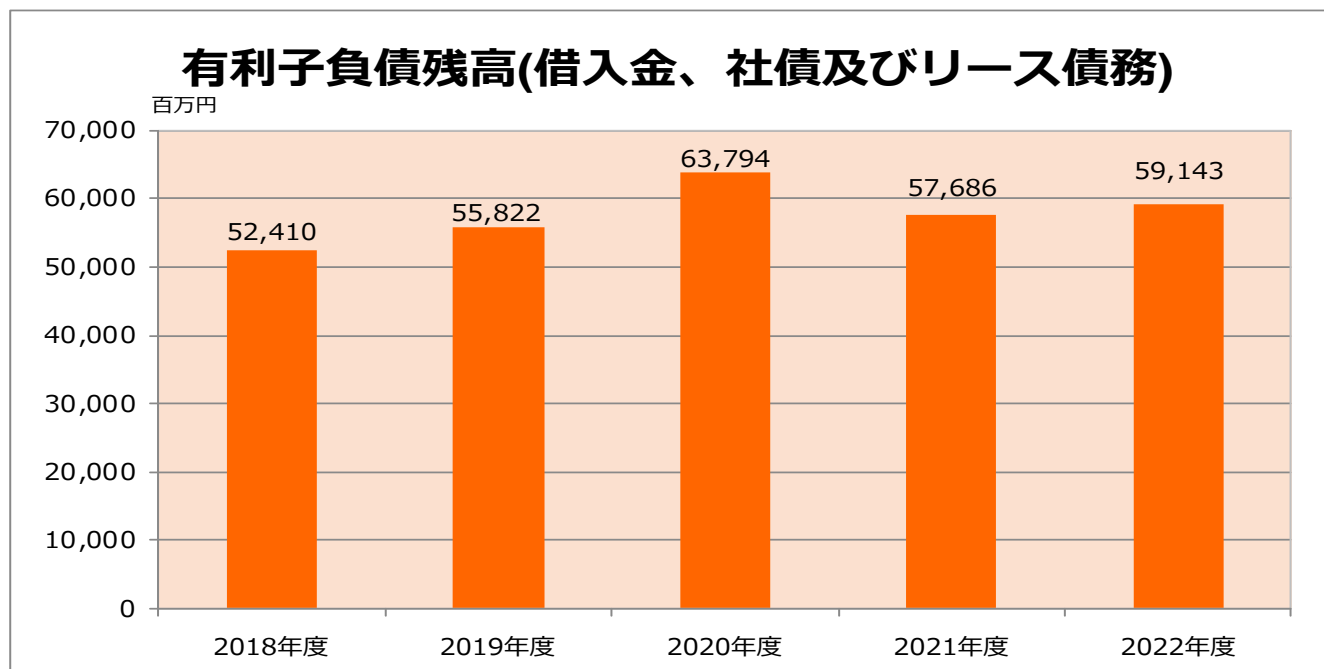
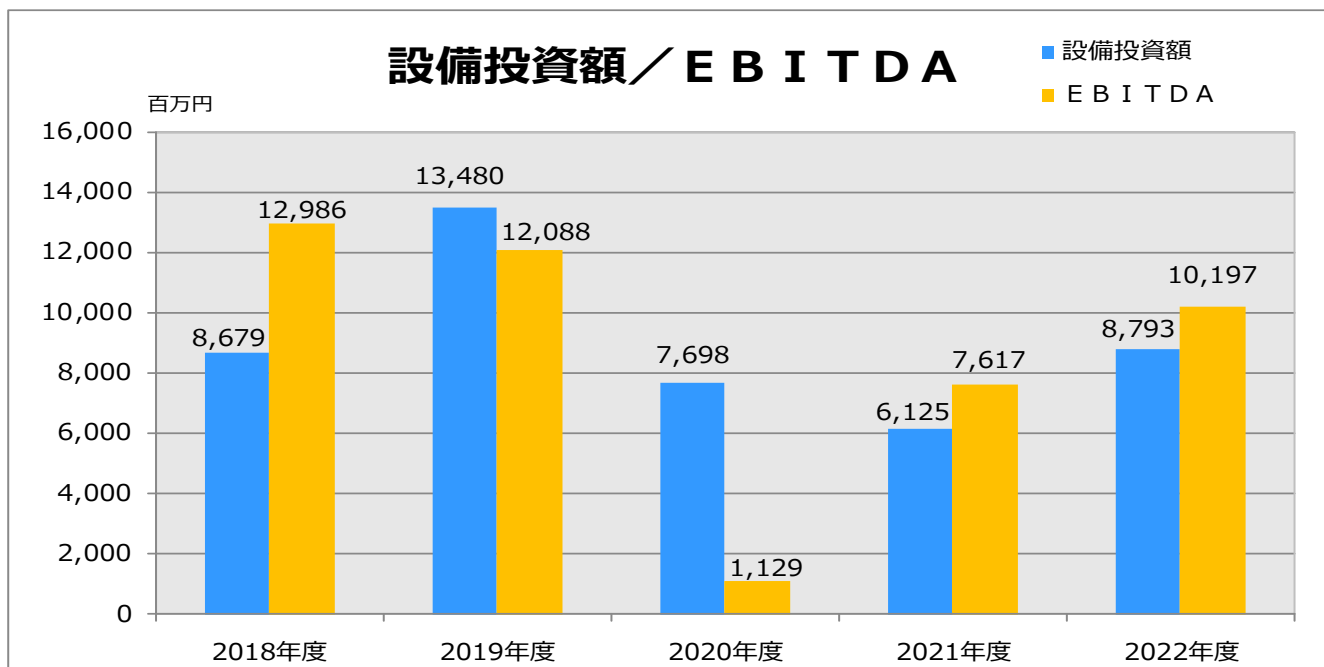
	2023年3月期	2022年3月期	増減	摘要
流動資産	25,205	18,431	6,774 (36.8%)	商品及び製品+5,655 受取手形、売掛金及び契約資産+1,589
固定資産	125,363	128,475	△ 3,112 (△ 2.4%)	減価償却累計額△3,312 投資有価証券△1,272 建物及び構築物+2,813
資産合計	150,568	146,906	3,662 (2.5%)	
流動負債	43,452	32,047	11,404 (35.6%)	短期借入金+7,858 支払手形及び買掛金+1,995
固定負債	54,236	61,698	△ 7,461 (△ 12.1%)	長期借入金△4,952 リース債務△2,022
負債合計	97,689	93,746	3,943 (4.2%)	
純資産合計	52,879	53,160	△ 280 (△ 0.5%)	その他有価証券評価差額金△833 利益剰余金+658
負債純資産合計	150,568	146,906	3,662 (2.5%)	
1株当たり純資産額	3,930.67円	3,971.82円	△ 41.15円	
自己資本比率	32.0%	33.2%	△ 1.2P	
有利子負債残高 (借入、社債及びリース)	59,143	57,686	1,457	借入金+2,906 リース債務△1,449

(単位:百万円)

	2023年3月期	2022年3月期	増減	摘要
営業キャッシュ・フロー	4,891	11,753	△ 6,861 (△ 58.4%)	棚卸資産の増減額△7,428 売上債権の増減額△2,252 仕入債務の増減額+3,425
投資キャッシュ・フロー	△ 6,518	△ 4,237	△ 2,281 (△ 53.8%)	固定資産の取得による支出△1,439 投資有価証券の売却による収入△646
財務キャッシュ・フロー	843	△ 6,726	7,569 (112.5%)	短期借入金の純増減額+11,838 長期借入による収入△3,200 長期借入金の返済による支出△1,167
現金及び現金同等物の増減額	△ 783	789	△ 1,573 (△ 199.2%)	
現金及び現金同等物の期末残高	2,621	3,404	△ 783 (△ 23.0%)	
フリーキャッシュ・フロー	△ 1,626	7,516	△ 9,142 (△ 121.6%)	







神奈川中央交通グループ 子会社19社、関連会社3社  
うち 連結子会社 19社  
持分法適用会社 2社 (大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス)

## 〈主な連結会社〉

- 一般旅客自動車運送事業  
神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)
- 不動産事業  
神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)
- 自動車販売事業  
神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)
- その他の事業  
神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、  
(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

(単位:百万円)

	2023年3月期	2022年3月期	増減	摘要
売上高	49,236	45,016	4,220 (9.4%)	乗合事業+2,602 貸切事業+436 乗用事業+1,180
営業利益	633	△ 3,357	3,991 (-)	乗合事業+2,798 貸切事業+153 乗用事業+1,038
資産	53,624	60,171	△ 6,547	
減価償却費	3,674	4,534	△ 859	
減損損失	1,993	-	1,993	
資本的支出	3,586	2,336	1,249	

2023年3月期 業績予想 (2022年4月公表値)	増減
51,170	△ 1,933 (△ 3.8%)
1,350	△ 716 (△ 53.0%)

## 【対前年】

前年の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の反動による旅客需要の改善に加え、固定費削減が寄与し、増収増益

## 【対予想(2022年4月公表値)】

いわゆる「第7波」・「第8波」の影響により、旅客需要の回復が鈍化したことから減収減益

(単位:百万円)

	2023年3月期	2022年3月期	増減	摘要
売上高	5,907	7,774	△ 1,866 (△ 24.0%)	賃貸事業+43 分譲事業△1,910
営業利益	2,499	3,058	△ 559 (△ 18.3%)	賃貸事業△184 分譲事業△375
資産	44,309	38,909	5,400	
減価償却費	937	968	△ 31	
減損損失	6	0	6	
資本的支出	4,943	997	3,946	

2023年3月期 業績予想 (2022年4月公表値)	増減
7,330	△ 1,422 (△ 19.4%)
2,500	△ 0 (△ 0.0%)

## 【対前年】

賃貸事業は、稼働率の上昇や新規賃貸物件が寄与し増収、開業関係費や修繕費の増加により減益  
分譲事業は、分譲マンションの完売や新規分譲計画戸数の減少により減収減益

## 【対予想(2022年4月公表値)】

賃貸事業は、稼働率が上昇したことや、修繕費などの費用の減少により増収増益  
分譲事業は、戸建分譲および宅地分譲の販売計画未達により減収減益

(単位:百万円)

	2023年3月期	2022年3月期	増減	摘要
売上高	29,022	26,692	2,329 (8.7%)	商用車販売事業+1,738 輸入車販売事業+591
営業利益	723	881	△ 158 (△ 17.9%)	商用車販売事業△49 輸入車販売事業△108
資産	23,373	19,024	4,349	
減価償却費	490	468	22	
減損損失	-	-	-	
資本的支出	273	420	△ 146	

2023年3月期 業績予想 (2022年4月公表値)	増減
22,610	6,412 (28.4%)
400	323 (80.9%)

## 【対前年】

商用車販売事業は、トラック・バスの販売台数や車両整備台数が増加したことにより増収、仕入単価増などにより減益  
 輸入車販売事業は、新車販売が好調に推移し増収、中古車販売における販売台数の減少および仕入単価増などにより減益

## 【対予想(2022年4月公表値)】

商用車販売事業は、トラック・バスの販売台数や車両整備台数が増加したことにより増収増益  
 輸入車販売事業は、新車販売・中古車販売における販売台数は計画未達となったものの、販売単価増により増収増益

## ※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2023年3月期	2022年3月期	増減
トラック	1,648	1,624	24
バス	127	67	60
輸入車	526	498	28

(単位:百万円)

	2023年3月期	2022年3月期	増減	摘要
売上高	27,871	25,648	2,223 (8.7%)	流通事業+738 飲食・娯楽事業+732 サービス事業(ホテル事業 他)+496 レジャー・スポーツ事業+280 ビル管理事業△241
営業利益	684	590	93 (15.9%)	サービス事業(ホテル事業 他)+102 飲食・娯楽事業+42 ビル管理事業△66
資産	35,535	38,258	△ 2,723	
減価償却費	771	637	133	
減損損失	108	51	56	
資本的支出	493	2,679	△ 2,186	

2023年3月期 業績予想 (2022年4月公表値)	増減
27,220	651 (2.4%)
730	△ 45 (△ 6.2%)

## 【対前年】

流通事業は、燃料販売単価の上昇や空調設備工事の受注が増加したことなどにより増収  
 飲食・娯楽事業は、コロナ禍からの回復や、「ドトールコーヒーショップ」の新規出店や営業譲受などにより増収増益  
 ホテル事業は、コロナ禍からの回復により増収増益  
 レジャー・スポーツ事業は、コロナ禍からの回復や前期開業店舗の通期寄与により増収  
 ビル管理事業は、設備修繕工事の受注が減少したことなどにより減収減益

## 【対予想(2022年4月公表値)】

流通事業は、燃料販売単価の上昇や空調設備工事の受注が増加したことなどにより増収  
 飲食・娯楽事業は、「ドトールコーヒーショップ」の営業譲受などにより増収  
 ビル管理事業は、設備修繕工事の受注が増加したことなどにより増収  
 レジャー・スポーツ事業は、会員数の計画未達や、光熱費の増加などにより減収減益

2024年3月期 業績予想 (2023年4月27日公表値)

---

(単位:百万円)

	2024年3月期 業績予想	2023年3月期	増減
売上高	109,500	103,865	5,634 (5.4%)
一般旅客自動車運送事業	53,860	49,236	4,623
不動産事業	7,090	5,907	1,182
自動車販売事業	29,140	29,022	117
その他の事業	29,890	27,871	2,018
調整額	△ 10,480	△ 8,173	△ 2,306
営業利益	4,790	4,323	466 (10.8%)
一般旅客自動車運送事業	1,370	633	736
不動産事業	2,420	2,499	△ 79
自動車販売事業	380	723	△ 343
その他の事業	1,040	684	355
調整額	△ 420	△ 217	△ 202
経常利益	4,770	4,910	△ 140 (△ 2.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,040	1,149	1,890 (164.5%)
1株当たり当期純利益	247.73円	93.65円	154.08円
減価償却費	5,590	5,873	△ 283
資本的支出	14,210	8,793	5,416
EBITDA(営業利益+減価償却費)	10,380	10,197	182



(単位:百万円)

	2024年3月期 業績予想	2023年3月期	増減	摘要
売上高	53,860	49,236	4,623 (9.4%)	乗合事業+4,167 貸切事業+213 乗用事業+243
営業利益	1,370	633	736 (116.1%)	乗合事業+506 貸切事業+93 乗用事業+137
減価償却費	3,310	3,674	△ 364	
資本的支出	8,050	3,586	4,463	

## 【対前年】

いわゆる「第7波」・「第8波」の影響により減少した利用客数が持ち直すことに加え、運賃改定が寄与し、増収増益

(単位:百万円)

	2024年3月期 業績予想	2023年3月期	増減	摘要
売上高	7,090	5,907	1,182 (20.0%)	賃貸事業+174 分譲事業+1,008
営業利益	2,420	2,499	△ 79 (△ 3.2%)	賃貸事業△74 分譲事業△5
減価償却費	1,050	937	112	
資本的支出	1,670	4,943	△ 3,273	

## 【対前年】

賃貸事業は、前期開業物件が通期寄与し増収、修繕費の増加により減益

分譲事業は、戸建分譲の販売戸数が増加し増収、宣伝広告費の増加などにより減益

(単位:百万円)

	2024年3月期 業績予想	2023年3月期	増減	摘要
売上高	29,140	29,022	117 (0.4%)	商用車販売事業+1,075 輸入車販売事業△958
営業利益	380	723	△ 343 (△ 47.5%)	商用車販売事業△222 輸入車販売事業△121
減価償却費	490	490	△ 0	
資本的支出	200	273	△ 73	

## 【対前年】

商用車販売事業は、トラック・バスの販売台数増加により増収、整備需要の減少により減益  
 輸入車販売事業は、販売台数は増加するものの、モデル構成により単価が減少し減収減益

## ※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2024年3月期 業績予想	2023年3月期	増減
トラック	2,058	1,648	410
バス	142	127	15
輸入車	554	526	28

(単位:百万円)

	2024年3月期 業績予想	2023年3月期	増減	摘要
売上高	29,890	27,871	2,018 (7.2%)	流通事業+1,035 サービス事業(資源活生 他)+510 商用車架装事業+374 飲食・娯楽事業+303
営業利益	1,040	684	355 (51.9%)	商用車架装事業+131 飲食・娯楽事業+78 流通事業+37
減価償却費	730	771	△ 41	
資本的支出	4,620	493	4,126	

## 【対前年】

流通事業は、乗合バス車載器の販売台数が増加し増収増益  
 資源活生事業は、リサイクル工場における生産量が増加し増収  
 商用車架装事業は、コンテナ専用車の架装台数が増加し増収増益  
 飲食・娯楽事業は、前期に営業譲受した店舗の通期寄与などにより増収増益

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<お問い合わせ先>

神奈川中央交通株式会社 経営戦略部 IR担当 TEL:0463-22-8894